

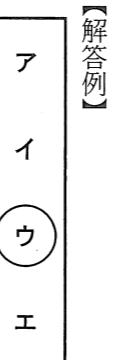
令和3年度

大阪府学力検査問題
(一般入学者選抜)

国語
〔A問題〕

注 意

- 1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。
- 2 答えは、解答用紙に書きなさい。
ただし、問題五は原稿用紙に書きなさい。
 - ・答えとして記号を選ぶ問題は、右の【解答例】にならい、すべて解答用紙の記号を○で囲みなさい。また、答えを訂正するときは、もとの○をきれいに消しなさい。
 - ・答えの字数が指定されている問題は、句読点や「」などの符号も一字に数えなさい。
- 3 問題は、中の用紙のA面に一～三、B面に四・五があります。
- 4 「開始」の合図で、まず、解答用紙と原稿用紙に受験番号を書きなさい。
- 5 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。



番

得点

〈問題五を除く〉

1

19

/22	/4		/6	/4	/4	/4	採 點 者 記 入 欄

	2	1						
	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
ア								
イ	セツ キヤク	ソウ チヨウ	ハタラ	シタ	清 涼	太 古	導 く	招 く
ウ		く	し い					

四

四							
5	4		3			2	1
ア イ ウ エ	b	a	こと。		鉛筆の	ア	ア
						イ	イ
						ウ	ウ
						エ	エ
			10	とい う			

三		
3	2	1
ア	ア	
イ	イ	
ウ	ウ	

/24	/4	/4	/4		/6	/3	/3	採点者記入欄

	/12	/4	/4	/4	採点者記入欄

四 次の文章を読んで、あの問い合わせに答えなさい。

鉛筆。^①「鉛の筆」と書いて、鉛筆。しかしその芯に鉛が使われているわけではなく、それは黒鉛という炭素なのだという。長いあいだ鉛筆を使ってみても、「これが黒鉛なんだ、炭素なんだ」という実感はない。その原材料の一部と用途を表しているのが漢字で書いた「鉛筆」という二文字だ。

鉛筆は、ひらがなで「えんぴつ」と書いたり、カタカナで「エンピツ」と書いたりすると、^②それぞれにまた違った鉛筆の表情を見せる。ひらがなの「えんぴつ」は、小学生の頃に初めて自分の鉛筆を手にしたときのなつかしい気持ちを思い起こさせる。カタカナの「エンピツ」は、ポンと机に投げだしたときや、あやまって床に落としてしまったときの「カラソ」という木軸の音が聞こえてくるような響きをしている。

鉛筆、えんぴつ、エンピツ。どの文字で書いても鉛筆らしくて、すべてがしつくりくる。呼びかたの音はひとつなのに、そのイメージが文字表記によって変わるのがおもしろい。それはちょうど鉛筆の描線が、一見してどれも「鉛筆で書いた描線をしている」のに、使う鉛筆や紙などによってさまざまな表情を見せてくれるのと似ている。

いま、わたしたちの周りにはあらゆる種類の筆記具がある。パソコンや携帯電話、スマートフォンなどの文字入力デバイスもある。それらを脇においてでも、^③ものごとを思考するときにはあえて鉛筆を選びたい。なぜなら鉛筆は、思考の流れをさまたげない筆記具であるのと同時に、次の思考の流れを湧きだしてくれる筆記具であるから。

鉛筆は、紙の上に黒鉛をのせて書く。紙の表面の凹凸^④が、繊細なサンドペーパーのように黒鉛を削りとっていくその筆感は、紙面にたいして「横の流れ」ですべらせていくものだ。一方、紙面にたいして「縦に押さえつけた負荷」をかけ、紙に描線を彫りこんでいく筆感の筆記具がある。ボールペンや、一部のシャープペンシルなどがそれだ。縦の負荷をかけながら書くと、手が押しこむ力を加えようとするあまりに、そちらに気をとられてしまう。パソコンのキー入力だってそうだ。キーを押すという動作はもちろん、入力する読みを選んだり、文字を選んだりしているうちに消えてしまいそうになる考えが、ときにはあ

る。ものごとを考えるときには、筆圧のほかから状態で、頭のなかに浮遊する言葉をつかまえることに集中したい。

鉛筆は、書きすすめていくうちに芯の尖り具合や丸まり具合が変化し、芯が短くなっては削り、削っていくうちに軸が短くなり、その姿を刻々と変えていく。その変化が自分の心情の変化とシンクロしていく呼吸感がある。ああ、木軸がもう紙に触れてしまった芯が丸まつた、鉛筆を削らなければと思うとき、そのまま思考を続けたければ隣に用意してある別の鉛筆に持ちかえ、これを機に少し頭を休めようかなと思えば鉛筆削りに向かう。鉛筆を削る木のサラサラいう音と、芯のシャリシャリいう音が合わさって、心のブレも一緒に削られ、研ぎすまされていくような気持ちになる。鉛筆の削りかすからは心地良い香りを鼻に感じる。そして削り上げた鉛筆の削り口を眺めると、新たな思考に向かおうという心意気が湧いてくるのだ。

鉛筆は、何本あっても嬉しい。買いすぎてしまったと後悔することもない、使えばいいのだから。財布にもあまり痛くなく、気軽に消費できるストレスフリーな筆記具。もはや筆記具のひとつといつよりも、子供の頃から長い付き合いを続けてきた「考える仲間」のようだ。そうだ、鉛筆は筆記具のひとつなのでではなくて「鉛筆」なのだ。

(小日向京『考える鉛筆』による)

(注) デバイス = 特定の機能を果たす装置
シンクロしていく = 一致していく

5 次のうち、本文中で述べられていることがどうと内容の合うものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- A 前の漢字があとの漢字を修飾している。
イ 似た意味をもつ漢字を組み合わせている。
ウ 反対の意味をもつ漢字を組み合わせている。
エ あとの漢字が前の漢字の目的や対象を示している。

3 ③ それぞれにまた違った鉛筆の表情を見せる とあるが、本文において、これはどのようなことを表した表現か。その内容についてまとめた次の文の□に入る内容を、本文中のことばを使って十字以内で書きなさい。

- ひらがなやカタカナなど、どのような文字で書き表すかによって、鉛筆の□ということ。
- 鉛筆は、□ a であり、筆圧をかけることに気をとられることがなく、頭に浮かぶ言葉をつかまることに力を注ぐことができるから。
○ 鉛筆は、次の思考の流れを湧きだしてくれる筆記具であり、鉛筆を削ると心が研ぎすまされ、削ったあとの削り口を見るとが生まれてくるから。

4 ④ ものごとを思考するときにはあえて鉛筆を選びたいとあるが、本文中で筆者がこのように述べる理由を次のようにまとめた。□ a 、□ b に入れるのに最も適しているひとつを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、□ a は十五字、□ b は十六字で抜き出し、それぞれ最初の七字を書きなさい。

5 次のA～Cのうち、コミュニケーションにおいてあなたが最も大切にしたいと思うことはどれですか。あなたの条件1～3にしたがって、あなたの考えを別の原稿用紙に書きなさい。

- A 人と会つたり別れたりする時にあいさつをすること
B 人の話を聞く時に相づちを打つたりうなづいたりすること
C 人と話す時に相手や場面に合わせた言葉づかいをすること

条件1 A～Cのいずれか一つを選ぶこと。

条件2 条件1で選んだものについて、最も大切にしたいと思う理由を書くこと。

条件3 百八十字以内で書くこと。

一 次の問い合わせに答えなさい。

- 1 次の(1)～(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)～(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

(1) 友人を自宅に招く。

太古の人々の暮らし。

シタしい友人と話す。

(2) チームを優勝へと導く。

清涼な山の空気。

(3) 热心にハタラく。

(4) 明日のソウチヨウに出発する。

(5) 笑顔でセックヤクする。

(6) チームを優勝へと導く。

(7) 清涼な山の空気。

(8) 热心にハタラく。

(9) 明日のソウチヨウに出発する。

(10) 笑顔でセックヤクする。

- 2 次のうち、返り点にしたがって読むと「言は行を顧み、行は言を顧みる」の読み方になる漢文はどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 言、顧_レ行、行、顧_{ミル}言。

イ 言、顧_{ミル}行、行、顧_レ言。

ウ 言、顧_{ミル}行、行、顧_{ミル}言。

- 3 次のうち、本文中の①に入れるのに最も適していることばはどれか。

- 1 一つ選び、記号を○で囲みなさい。

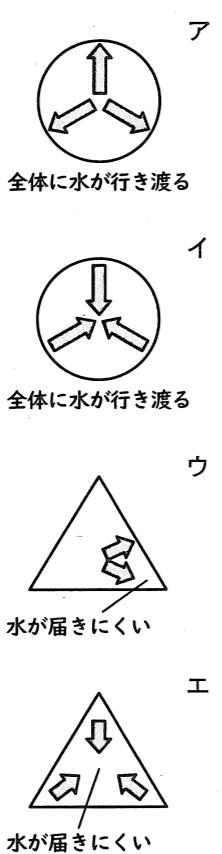
ア そのうえ イ そのため ウ それとも

- 2 ② カサスゲが笠の材料として適しているのには理由があるとあるが、次のうち、カサスゲが笠の材料に適している理由として、本文中で述べられていることがどうと内容の合うものはどれか。最も適しているものを一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア カサスゲはどの方向にも曲がり、よくしなるから。

イ カサスゲの茎は頑丈であり、繊維が丈夫であるから。

ウ カサスゲは纖維が豊富であり、紙の原料にもなるから。



- 3 本文中で筆者は、カサスゲの茎で作った笠のどのような点が優れていると述べているか。その内容についてまとめた次の文の a に入る内容を、

本文中のことばを使って十字以上、十五字以内で書きなさい。また、

b に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、本文中から六字で抜き出しなさい。

カサスゲの茎で作った笠は、笠の内側まで a うえに、隙間がないでいるので b という点。

- 3 次のうち、本文中で述べられていることがどうと内容の合うものはどれか。

- 1 一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 連阿_レといふ人有り。月みんとて友_ミどちつれて、そこはかとなくさすらひけるが、物おひて来る翁に逢ひて、道の程など問ひければ、そこ達は夜をかけて何用の有りてととぶ。

イ 武藏の月みんとて江戸よりまかりつと答へければ、翁手をうちて、此の年迄知らざりけり、江戸には月なきなめり、と云ひけり。

(注) 武藏の ॥ 武藏野。現在の関東平野西部にある地域。

2 ② そこ達は夜をかけて何用の有りてとあるが、次のうち、このことばを言った人物として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 連阿 イ 友_ミどち ウ 翁

- 3 本文中で述べられていることがどうと内容の合うものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア たくさんの荷物を持って武藏野に来た連阿に対して、翁は「今年は武藏野で月を見ることができないようだ」と言った。

イ 武藏野の月を見ようと思って江戸から来た連阿に対して、翁は「江戸に月がないことを今まで知らなかつた」と言った。

ウ 道に迷いつつもわざわざ江戸に来た連阿に対して、翁は「武藏野の月も

るのである。ところが、断面が三角形の茎はしなりにくいが、そのかわり頑丈である。三角形は、もっとも少ない数の辺で作られているので、同じ断面積であれば、外からの力に対してもっとも頑丈な構造になっている。鉄橋や鉄塔が三角形を基本とした構造をしているのもそのためである。そのうえ、カヤツリグサは三角形の茎の外側を強靭な纖維でしっかりと覆つて、頑丈さを補っている。カサスゲのこの丈夫な纖維が、笠を編む材料として非常に適している。紙の原料植物として「ペーパー」(Paper)の語源にもなったパピルス(Papyrus)も、カヤツリグサ科の植物である。パピルスも茎を補強する豊富な纖維が紙の原料として優れていた。

このようにカヤツリグサ科の植物は三角形の頑丈な茎で成功を収めている。

では、カヤツリグサ科以外の植物が、なぜこの三角形の構造を採用していないのであろうか。

丸い茎は、中心からの距離がどの方向にも等しいので、一定の圧力で隅々の細胞まで水を行き渡らせることができる。ところが、三角形の茎では、中心からの距離がまちまちになってしまるために、隅の細胞までは水が届きにくい。そのため、カヤツリグサ科の植物の多くは、水が潤沢な湿った場所を好んで生えている。もちろん、カサスゲも例外ではない。

それにしてもプラスチックや化学纖維がなかった時代とはいえ、植物の茎で作られた笠で、本当に雨を避けることができるのだろうか。

丸い茎は、中心からの距離がどの方向にも等しいので、一定の圧力で隅々の細胞まで水を行き渡らせることができる。ところが、三角形の茎では、中心からの距離がまちまちになってしまるために、隅の細胞までは水が届きにくい。そのため、カヤツリグサ科の植物の多くは、水が潤沢な湿った場所を好んで生えている。もちろん、カサスゲも例外ではない。

それにして、もプラスチックや化学纖維がなかった時代とはいえ、植物の茎で作られた笠で、本当に雨を避けることができるのだろうか。

丸い茎は、中心からの距離がどの方向にも等しいので、一定の圧力で隅々の細胞まで水を行き渡らせることができる。ところが、三角形の茎では、中心からの距離がまちまちになってしまるために、隅の細胞までは水が届きにくい。そのため、カヤツリグサ科の植物の多くは、水が潤沢な湿った場所を好んで生えている。もちろん、カサスゲも例外ではない。

雨具を作ると、何とも粗末な感じがするが、そもそも植物の茎で作られた笠で、本当に雨を避けることができるのだろうか。

丸い茎は、中心からの距離がどの方向にも等しいので、一定の圧力で隅々の細胞まで水を行き渡らせることができる。ところが、三角形の茎では、中心からの距離がまちまちになってしまるために、隅の細胞までは水が届きにくい。そのため、カヤツリグサ科の植物の多くは、水が潤沢な湿った場所を好んで生えている。もちろん、カサスゲも例外ではない。

雨が降るとカサスゲの茎はぬれてしまう。しかし、ぬれるのは笠の外側だけである。一度ぬれてしまえば、雨のしづくは、ぬれた茎を伝って笠の外へ流れ落ちる。そのため、雨水が中までしみ込むことは少ないのである。これは茅葺きの屋根やわらで作った蓑なども同じしくみである。水をはじくプラスチックのほうが、「見する」と雨にぬれないような気がする。しかし、もしプラスチックを材料とした梶包紐で笠を編んだら、どうなるだろうか。プラスチックにはじかれて行き場のない水滴は、すさまを伝いながら奥へとしみ込んでしまうであろう。

さらに、茎を編んだ蓑笠には隙間があいていて、雨を避けるだけでなく、通気性もいいのが特徴である。そのため、ビニールの雨合羽のように内側がむれることは少ないのだ。粗末に見える蓑笠であるが、じつは現代の科学技術も及ばない優れた機能を持っているのである。

(稻垣栄洋『残しておきたいふるさとの野草』による)

○

受験番号	番
------	---

得点	
----	--

〈問題五を除く〉

二				
4		3	2	1
b	a			
通	うえに、	は 10	し	笠の内側まで
気	少	み		
性	な	込		
も	い	む	雨	
い		こ	水	
い		と	が	

15

/22	/4	/6	/4	/4	/4	配点
		部分点を与える。				注意事項

一								
2	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
(ア) イ ウ エ	接 客	早 朝	働 く	親 しい	せ い り よ う	太 い 古 こ	み ち び く	ま ね く

/20	/4	/2	/2	/2	/2	/2	/2	/2	/2	配点
		採点に当たっては、「常用漢字表(付)字体についての解説」および「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」をふまえ、採点基準を定めること。裏面に、「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」の「字形比較表」の一部を示している。								注意事項

四				
5	4	3	2	1
ア イ ウ エ	b 向 新 さ 思	a こと。 た な 思 考 の 流 れ に	変 わ る イ メ リ ジ が	鉛筆の ア イ ウ エ エ

三		
3	2	1
ア イ ウ エ	ア イ ウ エ	さすらいける

/24	/4	/4	/4	/6	/3	/3	配点
				部分点を与える。			注意事項

/12	/4	/4	/4	配点
				注意事項

(注意事項)

- ・解答状況を把握した上で、下記の観点に基づき、採点基準の例を参考にしながら、各学校において採点基準をつくること。
- ・採点した結果が、配点のすべての段階にわたるよう留意すること。
- ・採点者は2名以上とし、各答案をそれぞれ2名以上で、12点満点で採点すること。
- ・得点については、各採点の平均をとり、小数点以下の端数は四捨五入すること。

(観点)

- 指示された条件にしたがって、自分の考えが書かれていること。
- 内容
- ・主題や要旨が明確であること。
 - ・根拠や例示が的確であること。
 - ・文章の展開が論理的であること。
- 表記

(3点)

(採点基準の例)

内容についての採点基準の例	S	A	B	C
・主題や要旨が非常に明快で、主旨を明確に読み取ることができる。 ・思考の根拠が妥当できわめて説得力がある。	4-(1)(2)(3)(5) など	Q38,40,41, 58,61,62	4-(3)(4) など	Q62,70
・思考の根拠が妥当であり、例示が非常に具体的で分かりやすい。	4-(3)(4) など	Q62,71	4-(1)(3) など	Q58,62
・論理が非常に明確で、筋道を立て構成されており、文章がぎわめて円滑に展開されている。	3-(1),4-(2)(3)(6) など	Q40,43,54, 61,72	4-(2)(3)(4) など	Q40,61,68
表記についての採点基準の例	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙の使い方が正しい。 ・誤字や脱字がなく、漢字が適切に用いられている。 ・語句の用法が適切である。 ・文の成分の順序や照応が適切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理が明確で、筋道を立て構成されており、文章が円滑に展開されている。 ・論理があまり明確でなく、筋道を立てて構成されていないところがあり、文章があまり円滑に展開されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・論理があまり明確でなく、筋道を立てて構成されておらず、文章が全く円滑に展開されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主題や要旨が全く明快でなく、主旨を読み取ることができない。 ・思考の根拠に妥当でないところがあり、例示があまり具体的でなくやや分かりにくい。 ・論理が不明確で、筋道を立てて構成されておらず、文章が全く円滑に展開されていない。

「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」（平成28年2月29日 文化審議会国語分科会）字形比較表

番号	常用漢字表	代表音訓	配当学年	印刷文字の字形の例	手書き文字の字形の例	第2章関連項目	第3章Q&A関連項目
1069	親	シン	2	親 親 親 親	親 親 親 親	4-(1)(2)(3)(5) など	Q38,40,41, 58,61,62
1543	働	ドウ	4	働 働 働 働	働 働 働 働	4-(3)(4) など	Q62,70
1219	早	ソウ	1	早 早 早 早	早 早 早 早	4-(3)(4) など	Q62,71
1406	朝	チヨウ	2	朝 朝 朝 朝	朝 朝 朝 朝	4-(1)(3) など	Q58,62
1158	接	セツ	5	接 接 接 接	接 接 接 接	3-(1),4-(2)(3)(6) など	Q40,43,54, 61,72
355	客	キヤク	3	客 客 客 客	客 客 客 客	4-(2)(3)(4) など	Q40,61,68

※関連項目についても確認すること。

— 1

(5) (6) (7) (8)

令和3年度

大阪府学力検査問題
(一般入学者選抜)

国語
〔B問題〕

注 意

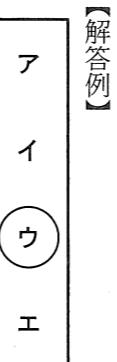
1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。

2 答えは、解答用紙に書きなさい。

ただし、問題五は原稿用紙に書きなさい。

・答えとして記号を選ぶ問題は、右の【解答例】にならい、すべて
解答用紙の記号を○で囲みなさい。また、答えを訂正するときは、
もとの○をきれいに消しなさい。

・答えの字数が指定されている問題は、句読点や「」などの符号も
一字に数えなさい。



解答用紙の採点者記入欄には、何も書いてはいけません。

3 問題は、中の用紙のA面に一・二、B面に三～五があります。

4 「開始」の合図で、まず、解答用紙と原稿用紙に受験番号を書きなさい。

5 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

○

番

得点

〈問題五を除く〉

二			
4	3	2	1
ア		ア	ア
イ		イ	イ
ウ		ウ	ウ
エ		エ	エ

12

	\checkmark 14	\checkmark 4	\checkmark 2	\checkmark 4	\checkmark 4	採 點 者 記 入 欄

/20	/4	/4	/4		/6	/2	採点者記入欄

採点者記入欄

4	3	2	1
ア イ	50		b a
ウ	60		
エ	ことが	読みやすいストーリーや文章を	ア イ ウ エ

採点者記入欄

三 次の問い合わせに答えなさい。

1 次の(1)～(4)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(5)～(8)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 傾斜のゆるやかな坂。
 (2) 一点差で惜敗した。
 (3) 世界記録に挑む。
 (4) 腰を据えて物事に取り組む。
 (5) 毎日かかさず散歩する。
 (6) 成功を感じてウタガわない。
 (7) 笑顔でセックヤクする。
 (8) ピアノをエンソウする。

2 次のうち、「装飾」と熟語の構成が同じものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 疾走 イ 到着 ウ 撮影 エ 抑揚

四 次の文章を読んで、あとの問い合わせに答えなさい。

A-Iが出力する創作物はあくまで、人間が創作した芸術作品や文章といったデータを要素に分解し、出現頻度や相関関係などから、多数の要素を組み合わせるだけのものが大半だ。すなわち、要素還元主義的発想であり、絵画であれば色や曲線の数、音楽であれば「ド」「レ」の音の数などを分析して確率論的に組み合わせているにすぎないのである。

A-Iが利用し処理するデータそのものは、コンピュータが創ったわけではない。これまでの人間の作品の蓄積である。クラシック音楽やロック、浮世絵、短歌や詩などといった芸術形式も、そもそも人間の精神的／肉体的な活動が生み出したものである。だから、たとえA-Iの作品に独特の身体感覚や人生觀に基づいたメッセージ性が感じられたとしても、それは、A-Iが学習した作品群に人間の創作者の想いが詰まっているからなのだ。つまり、A-I創作の素材となっている作品にはもともと、人間特有の怒りや喜び、悲しみ、寂しさ、驚きといった感情が埋め込まれている。それらが組み合わされるのだから、メッセージ性が表れても不思議ではない。^① A-Iそのものが独自のメッセージ性をもつと断定することはできないのである。

現を模索するわけだ。もしかしたら、A-Iをメディアとして巧みに利用しながら、人々を異次元で感動させる作品を作る人物こそ、A-I時代に期待される真のアーチストなのかも知れない。

(西垣通・河島茂生『A-I倫理』による)

(注) SF = 空想的で科学的な作り話。

- 1 A-Iそのものが独自のメッセージ性をもつと断定することはできないとあるが、本文中で筆者がこのように述べる理由を次のようにまとめた。
 □ a 、 □ b に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、□ a は八字、□ b は九字で抜き出し、それぞれ初めの五字を書きなさい。
- A-I創作の素材となるデータは、今までに作られてきた□ a である、A-Iによる創作物は、素材となるデータに入れられた□ b を組み合わせて出力されるものであるから。
- 2 次のうち、本文中のIで示した箇所の、本文中での役割を説明したものとして最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

- ア 前段で述べた内容を受けて、A-I創作に関する筆者の考え方の根拠となる事例を並べて述べることで、論の妥当性を主張している。
- イ 前段で述べた内容を受けて、A-Iが出力する創作物に対する社会的風潮をとりあげることで、筆者の論の独自性を強調している。
- ウ 前段で述べた内容を受けて、人間による芸術作品の選出や評価の難しさを説明することで、筆者の論旨を理解しやすくしている。

- エ 前段で述べた内容を受けて、A-Iが社会に与える影響と解決すべきA-I時代の新たな課題を示すことで、論の展開を図っている。

- 3 ②それをもとに創作することにあるが、本文中で筆者は、創作をするにあたり、商業的に売れた電子書籍を分析することでどのようなことが可能になると述べているか。その内容についてまとめた次の文の□に入れる内容を、本文中のことばを使って五十字以上、六十字以内で書きなさい。
- たくさん的人が面白いと感じるような、読みやすいストーリーや文章をことが可能になる。

また、作品の選出や評価をしているのはA-Iでなく人間だ、ということも忘れてはならない点である。A-Iがつくる大量の出力結果の中から、美的価値をもつ優れた作品を選び出しているのはやはり人間なのだ。A-Iが人間と別次元の独自の評価尺度に基づいて作品を作っているわけではない。「意味」を生み出すのは生物のみなのであり、そこに美的価値が見いだされるのだ。決して「A-Iのみで芸術が完結することはない。つまり「A-Iプラス人間」、両者の協働という枠組みを度外視することはできないのである。

むろん理論的には、A-Iがそれ自身の美的判断や芸術を生み出すという考えもありうるだろう。だが、現在のところ、SFの域を出ていない。「意味」を生み出すのは生物のみなのであり、そこに美的価値が見いだされるのだ。決して「A-Iのみで芸術が完結することはない。つまり「A-Iプラス人間」、両者の協働という枠組みを度外視することはできないのである。

伝と言わざるをえない。

A-Iは、創作活動をおこなう人間のアーチストにとって実に強力なツールだ。もちろん商業的に売れた作品を統計的に分析し、それをもとに創作することが可能になるからである。

ネット配信の動画であれば、視聴者がどこで停止ボタンを押し、どこで早送り／巻き戻しをしたか、どのような俳優の表情やシーンを好むかを分析し、動画の制作に活かすことができる。

これは電子書籍でも同様だろう。どこで線が引かれ、どの箇所で読むのが止まったのかを分析すれば、多くの人々が面白がるような、読みやすいストーリーや文章を定量的に可視化することができる。小説のテーマ設定やタイトル、登場人物の描き方にまで影響を与えていくだろう。これまで経験や勘に頼っていた売れ筋のフィクションの作り方を、明確に数量化して把握できることになる。また、A-Iによって検索語やアクセス数、つぶやきといったビッグデータを分析し、社会のトレンドをとらえることも可能である。したがって、社会的流行にいち早く反応し、商機を逃さず小説や番組制作などに活かしていくアーチストも出現するのではないか。

このことは負の側面ももっている。A-Iを駆使した創作が増えしていくと、商業主義的な成功ばかりが追求され、表現が固定化・硬直化しやすいからだ。A-Iがもたらす作品は、よくある典型的なパターンの抽出にもとづくため、平凡なものになりやすい。

ところで他方、これを逆手にとるアーチストが出現する可能性もある。陳腐な表現パターンが明確になるので、そこから離れて距離をとり、別の斬新な表現パターンを探し求めるアーチストが出現する可能性がある。

- ア A-Iを駆使した創作が増えることで、人々の興味や関心を反映した斬新な作品をA-Iが創り出すようになるが、その一方で、商業主義的な成功ばかりを感動させるアーチストが出現する可能性がある。
- イ A-Iを駆使することで、よくある典型的なパターンの抽出にもとづく平凡な作品が増えてしまうが、その一方で、陳腐な表現パターンで巧みにA-Iを駆使した創作が増えていくと、創作物の表現が固定化・硬直化しやすくなってしまうが、その一方で、A-Iの創作方法を逆手にとり、斬新な表現を探し求めるアーチストが出現する可能性がある。
- ウ A-Iを駆使すると、社会のトレンドをとらえた商業的な創作活動をおこなうことができるが、その一方で、A-Iを利用することから離れて距離をとり、斬新な創作をするアーチストが出現する可能性がある。

【目標】
 一人一人が積極的にあいさつをして気持ちよく学校生活を送る

【標語】

A 届けよう 元気なあいさつ 始めよう すてきな一日

B おはようの そのひことで 笑顔あふれる

条件1 A、B のどちらか一つを選ぶこと。

条件2 条件1で選んだ標語が、目標を実現するのに効果的な標語だと

考える理由を書くこと。

一 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

鉛筆。「鉛の筆」と書いて、鉛筆。しかしその井心に鉛が使われているわけではなく、それは黒鉛という炭素なのだという。長いあいだ鉛筆を使ってみても、「これが黒鉛なんだ、炭素なんだ」という実感はない。その原材料の一部と用途を表しているのが漢字で書いた「鉛筆」という二文字だ。

鉛筆は、ひらがなで「えんぴつ」と書いたり、カタカナで「エンピツ」と書いたりすると、それぞれにまた違った鉛筆の表情を見せる。ひらがなの「えんぴつ」は、小学生の頃に初めて自分の鉛筆を手にしたときのなつかしい気持ちを思い起こさせる。カタカナの「エンピツ」は、ポンと机に投げだしたときや、あやまつて床に落としてしまったときの「カラーン」という木軸の音が聞こえてくるような響きをしている。

鉛筆、えんぴつ、エンピツ。どの文字で書いても鉛筆らしくて、すべてがしつくりくる。呼びかたの音はひとつなのに、そのイメージが文字表記によって変わるのがおもしろい。それはちょうど鉛筆の描線が、「見してどれも「鉛筆で書いた描線をしている」のに、使う鉛筆や紙などによつてさまざまな表情を見せてくれるのと似ている。

いま、わたしたちの周りにはあらゆる種類の筆記具がある。パソコンや携帯電話、スマートフォンなどの文字入力デバイスもある。それらを脇においてでも、ものごとを思考するときにはあえて鉛筆を選びたい。なぜなら鉛筆は、思考の流れをさまたげない筆記具であるのと同時に、次の思考の流れを湧きだしてくれる筆記具であるから。

鉛筆は、紙の上に黒鉛をのせて書く。紙の表面の凹凸が、繊細なサンドペーパーのように黒鉛を削りとつていくその筆感は、紙面にたいして「横の流れ」ですべらせていくものだ。一方、紙面にたいして「縦に押さえつける負荷」をかけ、紙に描線を彫りこんでいく筆感の筆記具がある。ボールペンや、一部のシャープペンシルなどがそれだ。縦の負荷をかけながら書くと、手が押しこむ力を加えようとするあまりに、そちらに力をとられてしまう。パソコンのキー入力だってそうだ。キーを押すという動作はもちろん、入力する読みを選んだり、文字を選んだりしているうちに消えてしまいそうになる。ものごとを考えるときには、筆圧のほのかからない状態で、頭のなかに浮遊する言葉をつかまえることに集中したい。

鉛筆は、書きすすめていくうちに心の尖り具合や丸まり具合が変化し、芯が

短くなつては削り、削っていくうちに軸が短くなり、その姿を刻々と変えていく。その変化が自分の心情の変化とシンクロしていく呼吸感がある。ああ、木軸がもう紙に触れてしまふくらい芯が丸まつた、鉛筆を削らなければと思うとき、そのまま思考を続けたければ隣に用意してある別の鉛筆を持ちかえ、これを機に少し頭を休めようと思えば鉛筆削りに向かう。鉛筆を削る木のサラサラいう音と、芯のシャリシャリいう音が合わさって、心のブレも一緒に削られ、研ぎすまされていくような気持ちになる。鉛筆の削りかすからは心地良い香りを鼻に感じる。そして削り上げた鉛筆の削り口を眺めると、新たな思考に向かおうという心意気が湧いてくるのだ。

鉛筆は、何本あっても嬉しい。買いすぎてしまつたと後悔することもない、使えばいいのだから。財布にもあまり痛くなく、気軽に消費できるストレスフリーな筆記具。もはや筆記具のひとつというよりも、子供の頃から長い付き合いを続けてきた「考える仲間」のようだ。そうだ、鉛筆は筆記具のひとつなのではなくて「鉛筆」なのだ。

(小日向京『考える鉛筆』による)

(注) デバイス = 特定の機能を果たす装置。
シンクロしていく = 一致していく。

1 本文中の「の」と同じはたらきをしている「の」を含む一文を次から一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 寒さがやわらいで春の気配を感じる。
イ この花は公園に咲いているのと同じ花だ。

ウ まるで宝石のような星が夜空に輝いている。

エ その美術館には有名な画家の描いた絵がある。

2 ① それぞれにまた違った鉛筆の表情を見せる」とあるが、本文において、これはどのようなことを表した表現か。その内容についてまとめた次の文の□に入る内容を、本文中のことばを使って十一字以内で書きなさい。

□ ひらがなやカタカナなど、どのような文字で書き表すかによって、□といふこと。

3 ① 「せんすべなし」とあるが、次のうち、このことばの本文中の意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア とんでもない
ウ あとかたもない
イ 考えるまでもない
エ どうしようもない

4 ② 「せんすべなし」とあるが、次のうち、このことばの本文中の意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 二、三日たつても翁の様子がいつもと変わらなかつたこと。
イ 翁が真心をこめて育ててきただけの牡丹の花がなくなつていたこと。

ウ きれいに咲きそろつていた牡丹の花を翁が捨ててしまつたこと。
エ 翁の好きな牡丹の花が知らない間にたくさん植えられていたこと。

3 ③ 「むかひ」を現代かなづかいになおして、すべてひらがなで書きなさい。

4 次のうち、本文中で述べられていることがらと内容の合うものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア ある人が言つたことに対し翁は、「樂をすることはいくらでもできるが、それは結果的に自分のためにならない」と言った。

イ 牡丹の花が枯れていたことについて翁は、「新たに花を植えることはたやすいことだが、元通りになるわけではない」と言った。

ウ 牡丹の花が折られていたことに対する翁は、「樂しむために花を植えるのだから、そのため腹を立てることはない」と言った。

エ 不注意で牡丹の花を折ってしまった翁は、「花が育つのをいつも楽しみにしていたが、こうなるぐらいならもう育てない」と言った。

受験番号 番

得点

○
〈問題五を除く〉

二			
4	3	2	1
ア		(ア)	ア
イ	む か い	イ	イ
(ウ)		ウ	ウ
エ		エ	(エ)

一			
4	3	2	1
b	a	ア	
新	頭		
た	の	イ	
な	な		
思	か	ウ	
考	に	(エ)	
			12
			ア
			(イ)
			ウ
			エ

/14	/4	/2	/4	/4	配点
					注意事項

/20	/4	/4	/4	/6	/2	配点
				部分点を与える。		注意事項

四									
4	3					2	1		
ア	し て 把 握 す る	、 明 確 に 作 数 量	ヨ ン 筋 の フ り	れ 頼 つ て 経 り	に ま で こ と い	れ る こ に 可 能 性	す る に 的 に 可 能 性	定 量 的 に 可 能 性	読みやすいストーリーや文章を
イ						(ア)	b	a	
(ウ)						人 間 の の 創 作	人 間 の の 創 作		
エ						ウ	イ		
						エ	エ		

/24	/4	部分点を与える。				配点
						注意事項

三								
2	(8)	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
ア								
(イ)	演	接	疑	欠	据	い	せ	け
ウ					す	ど	き	い
エ							は	し

/14	/2	/2	/2	/2	/2	/1	/1	/1	/1	配点
										注意事項

採点に当たっては、「常用漢字表(付)字体についての解説」および「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」をふまえ、採点基準を定めること。裏面に、「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」の「字形比較表」の一部を示している。

(注意事項)
・解答状況を把握した上で、下記の観点に基づき、採点基準の例を参考にしながら、各学校において採点基準をつくること。

- ・採点した結果が、配点のすべての段階にわたるように留意すること。
- ・採点者は2名以上とし、各答案をそれぞれ2名以上で、18点満点で採点すること。
- ・得点については、各採点の平均をとり、小数点以下の端数は四捨五入すること。

(観点)

- 指示された条件にしたがって、自分の考えが書かれていること。
- 内容
 - ・主題や要旨が明確であること。
 - ・根拠や例示が的確であること。
 - ・文章の展開が論理的であること。
- 表記
 - (5点)

(採点基準の例)

	S	A	B	C
内容についての採点基準の例	<ul style="list-style-type: none"> ・主題や要旨が非常に明快で、主旨を明確に読み取ることができる。 ・考えの根拠が妥当であり、例示が非常に具体的で分かりやすい。 ・論理が非常に明確で、筋道を立て構成されており、文章がきちんとやや分かりにくい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主題や要旨が明快で、主旨を明確に読み取ることができる。 ・考えの根拠が妥当であり、例示が具体的で分かりやすい。 ・論理が明確で、筋道を立て構成されており、文章が円滑に展開されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主題や要旨に明快でないところがあり、主旨をあまり明確に読み取ることができない。 ・考えの根拠に妥当でないところがあり、例示があまり具体的でなくやや分かりにくい。 ・論理があまり明確でなく、筋道を立てて構成されていないところがあり、文章があまり円滑に展開されていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主題や要旨が全く明快でなく、主旨を読み取ることができない。 ・考えの根拠が全く妥当でなく、例示が具体的でなく非常に分かりにくい。 ・論理が不明確で、筋道を立てて構成されておらず、文章が全く円滑に展開されていない。
表記についての採点基準の例	<ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙の使い方が正しい。 ・誤字や脱字がなく、漢字が適切に用いられている。 ・語句の用法が適切である。 ・文の成分の順序や照応が適切である。 			

三 1 「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」（平成28年2月29日 文化審議会国語分科会）字形比較表

番号	常用漢字表	代表音訓	記念年	印刷文字の字形の例	手書き文字の字形の例	第2章関連項目	第3章Q&A関連項目
506	欠	ケツ	4	欠 欠 欠 欠	欠 欠 欠 など	3-(2),4-(4)	Q56,68
344	疑	ギ	6	疑 疑 疑 疑	疑 疑 など	4-(2)(5)	Q45,60
1158	接	セツ	5	接 接 接 接	接 接 など	3-(1),4-(2)(3)(6)	Q40,43,54,61,72
355	客	キャク	3	客 客 客 客	客 客 など	4-(2)(3)(4)	Q40,61,68
101	演	エン	5	演 演 演 演	演 演 など	4-(1)(2)(3)	Q40,58,61,62
1222	奏	ソウ	6	奏 奏 奏 奏	奏 奏 など	4-(1)(2)(4)(6)	Q34,58,60,65,68

※関連項目についても確認すること。

令和3年度

大阪府学力検査問題
(一般入学者選抜)

国語
〔C問題〕

注意

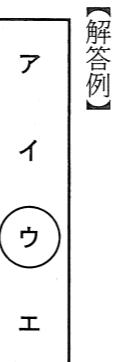
1 「開始」の合図があるまで開いてはいけません。

2 答えは、解答用紙に書きなさい。

ただし、問題五は原稿用紙に書きなさい。

・答えとして記号を選ぶ問題は、右の【解答例】にならい、すべて
解答用紙の記号を○で囲みなさい。また、答えを訂正するときは、
もとの○をきれいに消しなさい。

・答えの字数が指定されている問題は、句読点や「」などの符号も
一字に数えなさい。



解答用紙の採点者記入欄には、何も書いてはいけません。

3 問題は、中の用紙のA面に一～三、B面に四・五があります。

4 「開始」の合図で、まず、解答用紙と原稿用紙に受験番号を書きなさい。

5 「終了」の合図で、すぐ鉛筆を置きなさい。

○

番 受験番号

得点

〈問題五を除く〉

2			1			
無道人短、無説己之長。	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)
カレ コト ノ ヲ カレ クコト の ヲ						
	シャ ジ	エン ソウ	タダ	繕 う	据 え て	芳 香

/22		/6	/4	/4	/4	/4	採点者記入欄

/11	/2	/2	/2	/2	/1	/1	/1	採点者記入欄

三							2	1
3			a					
b								
10	の で、	年月がたてば					後になつて	ア イ ウ エ
		25						ア イ ウ エ
		ことは、						ア イ ウ エ
					15			

/21	/4	/4	/4		/6	/3	採点者記入欄

/16	/4		/4	/4	/4	採 点 者 記 入 欄

次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

建築創造というものは、僕ら建築家にとっては、建築を設計し建設することだが、しかし、住む人間にとっては出来上がった建築物を使うということも、創造的なものだ。例えば新居に引っ越して、カーテン一枚窓にかけるだけで、その人らしさ、その人のスタイルが出ててしまうし、自分の家具や洋服を部屋に並べるだけで、その人らしい空間がつくられる。「使う」ということ、「住む」ということは、創造的なことなのだ。

例えば、「ある」魅力的な空間を人が見て、それを使ってみたい、住んでみたい、と思うことがある。そのような、人間に使つてみたいと思わせるような、そういう空間の豊かさみたいなものをつくれないだろうか。人間が使いたくなるような建築、どう使おうか想像力をかき立てられるような建築をつくれないだろうか、と、僕らは次第に考えるようになつた。(①)この「ある」考え方(つまり使う人間に、新しい使い方を想像させる建築を目指すという考え方)に則つていえば、僕らのつくる建築は原則として、特定の機能というものはない、ということもできる。もちろん、美術館だと住宅だと、特定の機能に合うように設計はするが、しかし美術館とか住宅だと、かいう呼び方は、今現在の建築の使い方であつて、未来までも含めた使うことの潜在的可能性能という意味では、たとえそれが美術館として現在使われているとしても、その建物がまったく別の使い方を人に想像させ、それが現実化する、ということは十分にありうる。人によつては、僕らの美術館や、そこで活動する人々を見て、これは学校にも使えるかもしれないとか、託児所にいじやないかとか、違うことを思うかもしれないし、実際そうなることもあるかもしれない。時代が変われば、僕らとは違う想像力をもつた次の時代の人間が、歴史的建造物の魅力に触発されて、当時にありえなかつたような現代的な使い方を、始めるかもしれない。むしろ僕らは、そういった人間の想像力の広がりが起きることを望んでおり、そのようなことを引き起こす魅力を建築が持つことを望んでいる。そのようなかたちで、使うことの創造性を呼ぶような、開かれた建築のあり方を、僕らは目指している。

夏目漱石が「草枕」

の中で、汽車について、人間の尊厳を度外視した乗り物であると批判したことがある。夏目漱石がどのような気持ちであったのか、今

となつては想像するしかないが、ジャガイモと同列に扱われたような複雑な気持ちになつたといふこともあつたかもしれない。もちろん、100年前の時代の人間の尊嚴といふものを感じるようないいことによつてつくり出されたものである。

イ 電車というものを必要とし、電車の旅というものに快適性や居心地の良さを感じるような今の時代の人間にとって、漱石の時代の人間の尊厳といふものは感覚的にしか理解することができない。

ウ 今の時代の自分達の身の回りにある様々なものは、人間の感受性や快適性、快樂というものが時を経て変化し、自分達の生活がそれらを求めるようになったことによつてつくり出されたものである。

エ 携帯電話などの我々の周りにある諸機械の多くは、漱石には否定されそうなものばかりであるが、それらで溢れている今の時代の我々の生活にはある種の快適さや自由さや快樂のようなものがある。

建築家のつくる建築は、人や時代の変化も含めた

ことが大いにありうるから。

3 次のうち、本文中で述べられていることがどうと内容の合うものはどれか。一つ選び、記号を○で囲みなさい。

ア 今、我々の身の回りにある日用品や生活備品というものは、漱石の時代にはなかつたものばかりであるが、それらは漱石の時代やその時代の人間の身体性とつながりをもつものである。

イ 電車というものを必要とし、電車の旅というものに快適性や居心地の良さを感じるような今の時代の人間にとって、漱石の時代の人間の尊厳といふものは感覚的にしか理解することができない。

ウ 今の時代の自分達の身の回りにある様々なものは、人間の感受性や快適性、快樂というものが時を経て変化し、自分達の生活がそれらを求めるようになったことによつてつくり出されたものである。

エ 携帯電話などの我々の周りにある諸機械の多くは、漱石には否定されそうなものばかりであるが、それらで溢れている今の時代の我々の生活にはある種の快適さや自由さや快樂のようなものがある。

筆者は、人間の想像力をかき立てるような魅力を持った
4 「建築創造」について、本文中で述べられている筆者の考え方を次のようにまとめた。
a 、
b に入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、
a は十字、
b は十四字で抜き出し、それぞれ初めの五字を書きなさい。

筆者は、人間の想像力をかき立てるような魅力を持つた
想としており、
b ことは、自分達の時代の価値観をつくる契機となつてゆくであろうと考えている。

でもないと思っている。むしろ電車の旅というのに、漱石が感じなかつたタイプの快適性や居心地の良さなどを感じており、人によっては、電車に郷愁すら感じたりする。そのように、人間の感受性や快適性、快樂というものは、時代によって変わっていくものだ。電車以外にも、携帯電話コンピュータ、ジェット機、人工衛星、様々なものが我々の周りにあり、そのほとんどは、漱石の時代にはなかつたもので、その多くは、たぶん漱石には否定されそうなガラクタばかりである。携帯電話やコンピュータやファックスなどの諸機械がんじがらめの僕らの生活も、相当に不自由極まりない生活に見える恐れもある。またそういう諸物が、僕らの快樂、価値觀を変形させるような影響を僕らに与えているということもありうる。自分達の身の回りのもの、日用品などは、僕らの生活がそれを望んだ結果つくられたのか、もしくは逆に新しい日用品が登場したから、ぼくらの生活や価値觀が変わつていったのか、順序はわからない。少なくともいえることは、それは僕らの時代、僕らの身体性みたいなものとながつたモノたちであり、そういうた僕らの時代の日用品、生活備品というものは、僕らの時代の価値観を鮮やかに表すものもある、ということだ。

そういう身の回りのモノの中でも最大サイズのものとして、建築があるともいえる。各時代の人間は、各自の生き方、価値觀のもと、異なる建築をつくり出してきた。どの時代の建築も、人間はこのように生きるのが豊かなのだといふ、その時代の人間の生き方みたいなものを、空間的に表現してきた。そういう意味では、今の時代の僕らにとっての機能性、快適性、もしくは空間経験ということを、つきつめて考えてゆくと、それはいずれ、今の時代の価値觀といふ問題になつてゆくであろうと思われる。さらに、これから時代の建築を目指すことは、結果的に僕らの時代の価値觀みたいなものをつくるきっかけになつてゆくのではないか。

(西沢立衛『統・建築について話してみよう』による)

1 本文中のA～Dの一――を付けた語のうち、一つだけ他と品詞の異なるものがある。その記号を○で囲みなさい。

五 近年、外国との間の人・物・情報の交流の増大や、諸分野における国際化の進展に伴い、日本語の中での「カタカナ語」の使用が増大しています。カタカナ語の使用がえていくことについてのあなたの考えを別の原稿用紙に三百字以内で書きなさい。ただし、次の条件にしたがって書くこと。

(注) カタカナ語――主に欧米から入ってきた外来語や日本で外来語を模してつくられた語で、カタカナで表記される語のこと。

条件 次の【資料】からわかるることをふまえて、カタカナ語の使用が増えていることについてのあなたの考えを書くこと。

【資料】

カタカナ語の例	
カタカナ語	原語（もとになった外国語）の主な意味
コミュニケーション	伝達・意思疎通・通信手段
ポイント	論点・要点・目的・特徴・段階・地点・点数・先端
ニーズ	必要性・必要なもの
テンション	緊張・緊迫状態
リスク	尊敬・敬意
コンセンサス	意見の一致・合意

カタカナ語やカタカナ語の使用に関するさまざまな意見

- 表現のかたさが和らぐ。
- 人によって理解度が異なる。
- カタカナ語を使用しない方がわかりやすい。
- 格好よくて現代風である。
- これまでにない物事や、和語や漢語では表しにくい微妙な意味合いを表している。
- 多義性があり誤解や意味のずれを生むこともある。
- 原語の意味とカタカナ語の意味とが異なる。

一 次の問い合わせに答えなさい。

- 1 次の(1)～(3)の文中の傍線を付けた漢字の読み方を書きなさい。また、(4)～(6)の文中の傍線を付けたカタカナを漢字になおし、解答欄の枠内に書きなさい。ただし、漢字は楷書で、大きくていねいに書くこと。

- (1) 花の芳香が部屋に漂う。
 (2) 腰を据えて物事に取り組む。
 (3) 鳥が羽を繕う。
 (4) 計画を夕方に実行する。
 (5) ピアノをエンソウする。
 (6) 恩師へのシャジを述べる。

- 2 「人の短を道ふこと無かれ、己の長を説くこと無かれ。」の読み方になるよう、次の文に返り点を付けなさい。

無道人短無説己之長。

二 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。

短歌というものは、五七五七の三十一音からなる器である。それ以上でもそれ以下でもない。したがって、短歌で自分の感情を表現するとき、その器に盛り込むことのできる感情の量はほぼ定量である。感情の量が大きすぎると、歌いたいことは短歌の器からはみ出てしまう。また逆に、感情の量があまりに少ないと、短歌の器は満たされることなくスカスカになってしまふ。

歌作りに慣れるということは、とりもなおさず (1) というところのだろう。器に盛り込むことのできない大量の感情は、最初から短歌にはしない。反対に、あまりに少量の感情しかしない場合、それを歌にしつらえない。成熟した歌人は、そのようにして歌の器にふさわしい感情の量を見極めてゆく。その器に、ぴったりと合う感動を与えてくれる題材だけを歌の材料としてゆくのである。

が、斎藤茂吉という人は面白い人で、成熟した歌人なら初めから歌に盛り込もうとはしない大量の感情を歌に盛り込もうとする。ただ、その場合、彼は普通の歌人と違って、三十一音という器に感情をぎゅうぎゅうにしようとは

昭和五年夏、四十八歳の茂吉は、十五歳になつた長男茂太をともなつて出羽三山に登つた。月山と湯殿山に登つた一人は、七月二十日出羽山に登るべく赤川の支流の梵字川を渡る。その川の川下にはささやかな吊り橋がかかっている。橋のたもとに「人ならば五人づつ、馬ならば一頭づつ」という注意書きの書かれた立札が立つていて、重量三百キロを越えるようなものは渡れない危うい小橋なのだろう。

茂吉は、その野趣あふれる文字に感動する。その溢れる感情を短歌の器に盛り込もうとする。が、その感情の量に比して歌の器は小さい。普通の歌人なら、この立て札の文句を泣く泣く短くして三十一音に入れ込むことを考へるだろう。たとえば「人ならば五人づつ、馬ならば一頭づつ」といましめてあり。茂吉は、即座に五七五五五七七という七句四十音の新しい定型を作りだしてしまつてしまつたのだ。そこに茂吉らしい融通無碍な姿勢がある。

が、不思議なのは、そうやってとっさに作られた新しい器が、きちんと短歌として認定するに足る韻律や調べを保つていて、ということだ。この歌の場合、五七五という初句から第三句までの定型律と第五句から第七句までの五七七というリズムが、色濃く短歌の定型の韻律を保持している。破調の歌であるにもかかわらず、私たちがこの歌に強烈な短歌らしさを感じてしまう秘密はそこにある。

(注) 出羽三山 = 現在の山形県にある月山・湯殿山・羽黒山の総称。

(大辻隆弘『アララギの脊梁』による)

- 1 次のうち、本文中の(1)に入れるのに最も適していることばはどれか。一つ選び、「記号を○で囲みなさい。

- ア 短歌という器の大きさを知る イ 端的に自分の感情を表現する
 ウ 感情の量を調整して盛り込む エ 感情を歌の器に盛り込まない

- 2 ② そうやって作られたのがこの歌である とあるが、本文中のⒶで示した歌がどのようにして作られたかについて、本文中で筆者が述べている内容を次のようにまとめた。a、bに入れるのに最も適しているひとつづきのことばを、それぞれ本文中から抜き出しなさい。ただし、aは八字、bは十七字で抜き出し、それぞれ初めの五字を書きなさい。

- 3 ③ 融通無碍 とあるが、次のうち、このことばの本文中での意味として最も適しているものはどれか。一つ選び、「記号を○で囲みなさい。

- ア 後先を考えないで猛然と突き進むこと。
 イ 思考や行動が何にもとらわれず自由なこと。
 ウ 他に心を動かされず一つのこととに集中すること。
 エ 長年受け継がれてきた伝統やしきたりを守ること。

- 4 本文中のⒶで示した歌について、筆者が述べている内容を次のようにまとめた。aに入る内容を、本文中のことばを使って三十五字以上、四十五字以内で書きなさい。
- 「人ならば五人づつ」という五音一句がbところに、
- 同じ人の説の、こととかしことゆきちがひて、ひとしからざるは、いづれによるべきだとまどはしくて、大かた其の人の説、すべて浮きたる

- 三 次の文章を読んで、あととの問い合わせに答えなさい。
- 同じ人の説の、こととかしことゆきちがひて、ひとしからざるは、いづれによるべきだとまどはしくて、大かた其の人の説、すべて浮きたる

- 3 ③ 始めより終わりまで説のかはれることなきは、中々にをかしからぬかもあるぞかし とあるが、本文中で筆者がこのように述べる理由を次のようにまとめた。a、bに入る内容を本文中から読み取って、現代のことばで書きなさい。ただし、aは十五字以上、二十五字以内、bは十字以内で書きなさい。

- 4 後になってaことは、よくあることであり、また年月がたてばbので、人の説は絶対に変わるものであるから。

受験番号 得点

(問題五を除く)

二									
4					3		2		1
ところに、	つ	韻	認	ず	る	差	五	b	a
て	律	定	、	に	し	し	音	ア	ア
い	や	す	短	も	込	込	二	イ	イ
る	調	る	歌	か	ま	ま	句	ウ	ウ
	35	べ	に	と	か	れ	が	エ	エ
	足	し	わ	て	引	引			
	保	る	て	ら	い	に			

45

一						
2		1				
(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	
無道人短無説己之長。	謝	演	直	つくろ	芳	ほうこう
カレフヨトノカラクコトノカレクコトノカレクコトノ	シヤエンタ	エントダ	タマジ	タマジ	ホウ	ホウ
二二二二二二	シヤソウ	タマジ	タマジ	タマジ	ホウ	ホウ
					香	香

22	/6	/4	/4	/4	/4	配点
	部分点を与える。					注意事項

11	/2	/2	/2	/2	/1	/1	配点
							注意事項

四									
4		3		2				1	
b	a	ア	ありうるから。	実化するそん	させ方人れは	い方にとは	使われては	意味は	的性と
これ	開かれ	イ	ことがら。	50	50	60	60	60	60
かた	た	ウ	ことが大きいに	れに別が現像	方を人が想の	いと現使	味で使使	能はる使	可能と在
の	建	エ		現像	使使	使使	在う在	潜い	潜在

21	/4	/4	/4	/6	/3	配点
	部分点を与える。					注意事項

三						
3				2 1		
b		a		ア	ア	
す	年月	く	い	と	に	後になつて
ので	がたてば	る	考	は	考	
すん		え	異	え		
で	25	が	な	た	は	
学		ゆ	問	出	こ	じ
		く	ことは、	よ	と	め
		は	て	15		

16	/4	/4	/4	/4	/4	配点
	部分点を与える。		部分点を与える。			注意事項

(注意事項)
 ・解答状況を把握した上で、下記の観点に基づき、採点基準の例を参考にしながら、各学校において採点基準をつくること。

- ・採点した結果が、配点のすべての段階にわたるように留意すること。
- ・採点者は2名以上とし、各答案をそれぞれ2名以上で、20点満点で採点すること。
- ・得点については、各採点の平均をとり、小数点以下の端数は四捨五入すること。

(観点)

- 指示された条件にしたがって、自分の考えが書かれていること。
- 内容
 - ・主題や要旨が明確であること。
 - ・根拠や例示が的確であること。
 - ・文章の展開が論理的であること。
- 表記

(6点)

(採点基準の例)

内容についての採点基準の例	S	A	B	C
・ 主題や要旨が非常に明快で、主旨を明確に読み取ることができ、きわめて説得力がある。	・ 主題や要旨が明快で、主旨を明確に読み取ることができる。	・ 主題や要旨に明快でないところがあり、主旨をあまり明確に読み取ることができない。	・ 主題や要旨が全く明快でなく、主旨を読み取ることができない。	・ 主題や要旨が全く明快でなく、主旨を読み取ることができない。
・ 考えの根拠が妥当できわめて説得力があり、例示が非常に具体的で分かりやすい。	・ 考えの根拠が妥当であり、例示が具体的で分かりやすい。	・ 考えの根拠に妥当でないところがあり、例示があまり具体的でなくやや分かりにくい。	・ 考えの根拠が全く妥当でなく、例示が具体的でなく非常に分かりにくい。	・ 考えの根拠が全く妥当でなく、例示が具体的でなく非常に分かりにくい。
・ 論理が非常に明確で、筋道を立て構成されており、文章がきちんと文の成分の順序や照応が適切である。	・ 論理が明確で、筋道を立て構成されており、文章が円滑に展開されている。	・ 論理があまり明確でなく、筋道を立てて構成されていないところがあり、文章があまり円滑に展開されていない。	・ 論理があまり明確でなく、筋道を立てて構成されておらず、文章が全く円滑に展開されていない。	・ 論理があまり明確でなく、筋道を立てて構成されておらず、文章が全く円滑に展開されていない。

表記についての採点基準の例

- ・ 原稿用紙の使い方が正しい。
- ・ 誤字や脱字がなく、漢字が適切に用いられている。
- ・ 語句の用法が適切である。
- ・ 文の成分の順序や照応が適切である。

「常用漢字表の字体・字形に関する指針（報告）」（平成28年2月29日 文化審議会国語分科会）字形比較表

常用漢字表番号	常用漢字表番号	部首	音訓	読み	印刷文字の字形の例	手書き文字の字形の例	第2章関連項目	第3章Q&A関連項目
(4) 1418	(4) 101	直	チヨク	直	直 直 直	直 直 直	3-(1),4-(1)(2)(3)	Q34,54,58,61,62
(5) 1222	(5) 852	演	エン	演	演 演 演	演 演 演	4-(1)(2)(3)	Q40,58,61,62
(6) 821		奏	ソウ	奏	奏 奏 奏	奏 奏 奏	4-(1)(2)(4)(6)	Q34,58,60,65,68
		謝	シャ	謝	謝 謝 謝	謝 謝 謝	4-(2)(3)(6)	Q43,62,64
		辞	ジ	辞	辞 辞 辞	辞 辞 辞	4-(1)(2)(3)(4)	Q54,61,71

※関連項目についても確認すること。